

「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 北九州市八幡東区東田1-6-15

団体名 九州日本信販株式会社

代表者 塩塚 茂

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

団体概要

(ふりがな)	きゅうしゅうにほんしんばんかぶしがいしゃ	
団体名	九州日本信販株式会社	
(ふりがな)	しおづか しげる	
代表者氏名	塩塚 茂	
所在地	市内事業所	北九州市八幡東区 東田1-6-15
	主たる事業所	
事業概要	総合割賦斡旋事業 個品割賦斡旋事業	
企業・NPO法人等の別	企業	
業種（企業のみ）	サービス業（他に分類されないもの）	
従業員数（企業のみ）	101～300人	
ホームページの有無	有	
ホームページURL	https://www.kyushinpan.co.jp	

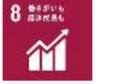
連絡先

担当部署	総務部人事総務グループ
担当者	河野 直樹（かわの）
電話番号	093-663-1761
メールアドレス	n-kawano@kyushinpan.co.jp

提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：地域課題への取組み

SDGs達成に向けた取組状況(チェックシート)

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性のある ゴール・ターゲット	最も関連性のある 「北九州市SDGs 未来都市計画」 の指標や取組
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握或使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)					◆温室効果ガスの排出を抑制するため、「クールビズ・ウォームビズ」を推進。社内に浸透させるため、社内規程に「服装・身だしなみ規程」を制定し、社内ネットワークを活用して全社員へ発信している。 ◆エネルギーの使用状況把握のため、営業車の燃料、事務所の電力、水道使用量、金額を毎月記録。前年同月などを比較し省エネを意識づけている。	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール13	経済(2)④
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R(リデュース、リユース、リサイクル)を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)					◆リサイクル(3R)を意識した取り組みとして、地元企業の産廃処理業者と提携し、週に一回、分別した一般古紙の回収をお願いして資源の再利用に取り組む。 ◆産廃物削減を意識して、年に3回は機密文章のリサイクル処理(溶解)を行い、トイレトペーパーへと資源の再利用に取り組む。	ゴール	指標
				9.4	12.3、12.5	13.3		ゴール9	環境(2)②
3	事業に伴う調達(原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等)について、環境負荷や人権などに配慮している。	環境・社会 { サプライチェーン管理 }					◆障害者就労の助成事業として、NPO法人夢つむぎに依頼し、毎年取引先に配布する壁掛けカレンダー、卓上カレンダーの作成依頼と購入を行っている。 ◆環境問題について「水・衛生プロジェクト」に取り組んでいる、NPO法人ウォーターエイトジャパンへの間接的な支援として、クレジットカードの引換商品にポイントの寄付(現金化し5,000円分を寄付する)を取り入れ協力している。	ゴール	指標
				10.2	12.2	13.3		ゴール10	社会(1)⑤
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)					◆お客様に安心・安全にクレジットカードを利用いただくために、クレジットカード情報保護のための統一のセキュリティ基準であるPCIDSSに準拠。年々基準が更新されPCIDSSに定められている6つの目標と12要件(現在Ver3)を満たし認証を取得。年に一回PCIDSSによる認定審査機関による訪問審査と、年に4回ネットワークカンによるチェックを受け認証を毎年更新している。	ゴール	指標
				8.2	9.5	12.5		ゴール8	社会(2)ウ
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済・社会 (商品開発)					◆社会課題であるキャッシュレス推進のため、本業であるクレジットカードを販売促進のツールとして物販店に提携カード導入を推進。加盟店(物販店)との提携カードにより、商品購入時のクレジット決済(キャッシュレス)と同時に、提携カード入会を行い、継続的なキャッシュレス推進が可能となる。提携カードの導入で売上増にも貢献。提携カードの推進によりキャッシュレス拡大の一翼を担う。	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール8	経済(2)①
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 { 労働環境整備 }					◆長時間労働の防止の取り組みとして、毎月第3水曜日をノー残業ディとして社内に周知している。部門長・所属長は所属部員全員が定時に退社できるよう朝礼・終礼時に声かけを行う。 ◆良好な労働環境の整備として、最近では介護・育児に関する休業・休暇について、該当者の要望に応えられるよう柔軟に社内規則改訂などを行っている。直近で2021年2月に社内規則の一部改訂を行い該当者目録で向き合っている。	ゴール	指標
				3.4	5.5	8.8		ゴール8	社会(1)②
7	年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	社会 { ジェンダー平等 }					◆不当な差別を防ぐ体制整備として、正社員と非正規社員との不適切な待遇差をなくすため、同一労働同一賃金への対応に取り組み。無期雇用、有期雇用係わらず、同等性を持たせるため福利厚生面で不平等であった子供手当、永年勤続休暇、特別有給休暇の社内規則の一部改訂を行う。	ゴール	指標
				5.5	8.5、8.8	10.2		ゴール8	社会(1)②
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	社会 { ハラスメント防止 }					◆あらゆるハラスメントの行為を防止するための取り組みとして、年に一回はハラスメントに関する社内研修、若しくは教材を提供した自己学習を実施。社内に通達文章を発信し全社員(アルバイト含む)へ周知徹底を図っている。 ◆ハラスメントに関する相談窓口として人事総務グループに設置し、社内規程にも載せて従業員へ周知している。	ゴール	指標
				5.1、5.4	8.8			ゴール8	社会(1)②
9	疾病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)					良好なメンタルヘルスの維持、従業員の健康維持のため ◆コロナ禍で感染症拡大防止のため、部門ごとに時差出勤を導入し実施している。 ◆年に一回健康診断を実施。健診結果に問題があれば、産業医(年3回)による面談を実施。また、産業医との面談が必要ではないかと判断するものに対しては面談を薦めている。従業員のメンタルヘルスの維持に努めている。 ◆喫煙室を設置し分煙を設置。また、密にならないよう入室制限を行っている。	ゴール	指標
				3.4	8.8			ゴール8	社会(3)①
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					◆従業員のスキルアップのため、会社側の業務命令による資格取得については、資格取得までに掛かる費用を会社側の負担としている。また、業務に必要な国家資格は、資格取得時に一時金を支給しており、従業員の資格取得意欲を高めている。	ゴール	指標
				4.4	8.2、8.6	17.17		ゴール8	経済(2)①
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄・不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	社会 (不正防止)					◆反社会的勢力の排除、対応などについては「反社会的勢力に対する被害の防止に関する社内規定」を整備し、万が一に時の対応について周知している。 ◆法令を遵守するための体制整備として、個人情報保護規定、情報システム規程、情報セキュリティ管理規定などを整備し従業員へ周知。個人情報保護に関しては年に一回は研修を実施し全社員へ周知し法令遵守のための体制を整えている。	ゴール	指標
				16.1、16.3、16.5				ゴール16	社会(2)ウ
12	自社のSDGsの取組みをマネジメントする担当者や担当部署を設置し、CSV(※)などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。	経済・社会 (持続可能性)					◆災害時などの事業継続、持続可能とする取組みとして、基幹システム会社の提携企業が管理運営するクラウドサービスを利用してデータのバックアップを行っている。弊社のサーバーに障害が発生した場合でも業務が継続可能な体制を整えている。 ◆SDGsへの取り組みに対して総務部人事総務Gを窓口として設置。「SDGsクラブプロジェクト 北九州のまちを美しく!」プロジェクトに参画予定【2021年10月取組開始予定】	ゴール	指標
				11.b	12.6	13.1		ゴール12	社会(4)③

※CSV(Creating Shared Value: 共通価値の創造)
企業が社会課題に取り組み、社会に対して価値を創造することでビジネス(経済的な価値)を創出すること。

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言日 令和3年9月30日
 団体名 九州日本信販株式会社

私たちは、SDGsの内容を理解し、SDGsの達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

◆ SDGs 達成に向けた取組方針等

弊社は、2030年のSDGs達成年に、経営理念のひとつでもある「仕事を通じて地域社会に貢献します」の通り、企業として継続的に存在し業務を通じてどのような貢献ができるのかを考え、社員一丸となってSDGsの取り組みにを推進していきます。

◆ SDGs 達成に向けた重点的な取組

達成を目指す分野 に「○」	SDGs 達成に向けた 重点的な取組	指標 (KPI) ・ 目標値		最も関連性のある 「北九州市SDGs 未来都市計画」の 指標や取組 ※どちらか一方のみの 記載で構いません。	
		指標 (KPI)	目標値		
経済	◆安心安全なクレジットカード利用に必要なセキュリティ基準であるPCIDSS (Ver3) の準拠。毎年バージョンアップされるPCIDSSの定める6つの目標、12要件を満たし認証取得。年に一回の訪問審査、4回のネットワークカンによるチェックを受け認証を更新中。	指標 (KPI)	PCIDSS認定更新	指標	
社会		○	目標値		具体的な取組
環境		(その他の場合) ()年	要件 (Ver4) を 100%満たす	社会 (2) ウ	
経済	地元企業の産廃処理業者を利用して、週一回一般古紙の回収を依頼している。その他、年に3回は機密文章のリサイクル処理 (溶解) をお願いし、トイレットペーパーへとリサイクル。廃棄物削減に取り組む。	指標 (KPI)	資源の再利用	指標	
社会		○	目標値		環境 (2) ②
環境		(その他の場合) ()年	2023年 年3回の実施	具体的な取組 環境 (2) ア	
経済	従業員のスキルアップのため、業務に必要な資格取得の働きかけを行う。特に社による、必要な資格試験である個人情報取扱主任者、国家資格の貸金業務取扱主任者においては合格率を上げるためのフォローアップを行う。	指標 (KPI)	人材育成	指標	
社会		○	目標値		経済 (2) ①
環境		(その他の場合) 2030年	その他 合格率 (毎年) 個人情報取扱主任者70% 貸金業務取扱主任者30%	具体的な取組	

記載について

- 「SDGs 達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- 必ず全ての分野 (経済・社会・環境) の達成を宣言してください。
(1つの取組で3つの分野を達成しても、複数の取組で3つの分野を達成しても構いません)
- 指標 (KPI) は、原則として数値目標を記載してください。

地域課題への取組み

団 体 名 九州日本信販株

私たちは、地域課題の解決を通じてSDGsを達成するため、北九州市の取組みに参加しています（今後、参加します）。

取組名	具体的な取組内容
2 【SDGsクラブプロジェクト】 北九州のまちを美しく！プロジェクト	ごみ拾いSNS「ピリカ」を活用し、各SDGsクラブ会員が行っている清掃活動を繋げ、クラブ会員同士の連携促進を図る。

記載について

- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」の中から、現在取り組んでいるもの（今後取り組むもの）を少なくとも一つ選択し、具体的な取組内容を記載して下さい。
- ・これから取組みを始める場合は、選択した取り組みの担当部署に連絡をし、所定の手続きを済ませた上で本書を提出して下さい。
- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」以外で、貴団体が自主的に行っている取組みについても、併せて記載いただいても構いません。